

2016年3月 淳風会長久手支部スケジュール

日	1	2	3	4	5
		1 秋ヶ池練習 (会費集金)	2	3	4 秋ヶ池練習 (会費集金)
6 秋ヶ池練習 県連総会 (ふらっと) 全国道場交流合宿 洋平休み	7	8	9 秋ヶ池練習	10	11 全国道場交流合宿 洋平休み
12 改善センター練習	13 秋ヶ池練習 全国大会会議 洋平休み	14	15	16 秋ヶ池練習	17
18 秋ヶ池練習	19	20 昇級審査会 県連ジュニア強化練習 常心門審判講習会 練習休み	21	22	23 秋ヶ池練習
24	25	26 改善センター練習 西日本大会準備 学連強化合宿	27 西日本大会 練習休み 学連強化合宿	28 鹿児島との交流会	29
30 秋ヶ池練習	31				

秋ヶ池体育館練習	
毎週水曜日	1部 PM6:00~7:30(全員) (体づくり30分、基本30分、クラス別30分) 組手 PM7:40~8:15(希望者) 2部 PM8:15~8:45(2級以上中心)
毎週日曜日	PM3:00~5:00(全員)

農村改善センター練習	
毎週土曜日	1部 PM6:00~7:30(全員) (体づくり30分、基本30分、クラス別30分) 組手 PM7:40~8:15(希望者) 2部 PM8:15~8:45(2級以上中心)

・会費 (道着・拳サポーター申込みも含む) の集金について
会費の集金は第1水曜日の7:15~7:45 及び、第一土曜日の6:00~6:30に受け付けます。

□3月の主な行事		
3/5 (土)・3/6 (日)	道場交流合宿	愛知県青年の家 (岡崎市)
3/6 (日)	県連総会	尾張旭ふらっと (18:00~22:00)
3/20 (日)	県連昇級審査会	緑スポーツセンター (午前)
3/20 (日)	ジュニア強化・審判講習会	緑スポーツセンター (午後)
3/25 (金) ~3/27 (日)	全国高校選抜	北海道
3/28 (月) ~3/30 (水)	全国中学選抜	北海道
3/26 (土)	西日本大会準備	中スポーツセンター
3/27 (日)	西日本大会	中スポーツセンター
3/28 (日)	鹿児島との交流会	長島スパランドなど

□4月の主な行事		
4/2・3 (土日)	ナショナルチーム選考会	日本空手道会館
4/3 (日)	名古屋選手権大会	枇杷島SC
4/10 (日)	県連ジュニア強化選考会	緑SC
4/10 (日)	全国大会予選会	緑SC
4/17 (日)	JKFan Cup	瀬戸市
4/24 (日)	東海学生選手権大会	名古屋商科大学

総会について
去る2月13日の長久手支部総会では、インフルエンザが猛威をふるっていた中、37世帯のご家族が出席していただき大変有意義でした。ありがとうございました。
長久手支部という組織も会員の皆さんも、一つずつステップアップするために、年間行事を把握して、それぞれ個人に合った計画を立てていく事はとても重要だと思っています。ご父兄方にも、一年間を見通していただけて良かったと思っています。今後も長久手支部の活動に、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

団体型への想い
3月27日にある西日本大会。7月末の全国大会にもつながる常心門の大きな大会です。長久手支部からは12チームの小学生団体型を組みました。一つの支部からこれだけ多くのチームが組まれることはなかなかありません。なぜこれだけたくさんチームを作るか？それは、仲間と練習する楽しさ、難しさ、悔しさを感じて成長してほしいからです。たった一人の練習はなかなか続きません。三人でやれば、難しさは三倍です。でも喜びも三倍。楽しさも三倍。悔しさも三倍。そしてつらさは三分の一。そうすると、自然と練習量は三倍。成長も三倍です。是非それぞれに良いチームを作って、周りの人たちは応援をして、一チームでも多くベスト8に入って全国大会に出場してほしいと思っています。

最近の団体型の練習は、雰囲気が良いですね。お父さん、お母さんが声をかけ、見守る中で子供たちの掛け声が響きわたります。そんな中で師範や私が激を飛ばします。つられて個人練習をしている皆さんも、真剣な表情。道場全体に活気があふれています。みんなの力が合わさって、長久手支部が一つになっている感じがします。団体型は、チームの力が試されます。広くみれば、長久手支部というチームの力が試されていると言っても良いと思います。団体型を通して、もっとも支部の結束が強まるように、力を合わせていきましょう！！

思いやりの広がり
今年のテーマの『思いやり』。自分だけでなく、周りの人たちを大切にすることが思いやりです。西日本大会の翌日は、鹿児島と合同で長島スパランドに行きます。それまで一生懸命頑張ってきた分、長島スパランドでは一緒に頑張ってきた仲間と一緒にたくさん遊んでもっと仲良くなってもらえたらと思っています。きっと鹿児島も、同じように必死になって練習してくるでしょう。中には大会で対戦する相手もいるでしょう。そんな中で、少しだけ勇気を出して、鹿児島の子供たちにも声をかけてみてください。きっと、相手もあなたに興味を持ってくれるはずです。だって、遠く離れた鹿児島で、同じように常心門の空手を頑張っている仲間ですから。そうやって思いやりの輪が広がった分、一回り大きく成長できるでしょうね。
(文：水田洋平)